

わかりますっ

wakari masuu?

mariko hayashi

林真理子

← 試し読み

TAKE FREE

aman
人気連載
最新刊

大人の おしゃれエッセイ 決定版

マガジンハウス

1

私はセンスの決めどころは、靴であるとかねてから思っている。おしゃれ、と言われる人は、必ずよく磨かれた流行の靴を履いている。

「私ってこういうものです。よろしく」

と、足元から名刺を出しているようだ。

私だってそりゃー、靴が大切だってよくわかってはいるんですよ。しかしウオノメやら、足の幅が広がるというアクシデントがあり、いつも同じスニーカーばかり。今の季節にぴったりの、ロゴがすごく可愛いルイ・ヴィトンの靴も布が固くて入らない。

そんな折りも折り、デパートの靴売場でフランス製の靴を見つけたことは、既にお話ししたと思う。そこはバレエシューズメーカーなので、布ももちろん、革もぐにやりとやわらかい。「まるで私のためにあるような靴」

と、四足も買った。

その中で、なかなかおろすチャンスがない靴があった。靴をおろす、初めて履く日はなかなか大変だ。雨の日はやめておきたいし、遠出する日もちょっと。何より大切なのは、必ず朝からその靴を履くということですね。

迷信と思われるかもしれないが、私はやっぱり朝に靴をおろす。ずっと以前、夕方からの



3

2

集まりに新品の靴を履いていこうとしたら、

「絶対にやめてください」

当時の東北出身の秘書に怒られた。絶対に悪いことが起こるといふのだ。

まあ、そんなわけで朝、新しい靴を履く。それから底がフラットだったら、うちの玄関の石のところで、ゴリゴリと上下させて傷をつける。これが私のやり方。

今日のことであるが、白いロングのプリーツスカートをはいた。白Tシャツに、ジャケットはマルニの鮮やかなブルー。これだったら靴はやっぱりあれでしょ。四足のうち、履いていない、袋に入ったまんまの靴がびつたりのはず。

それはデニムのバレエシューズ。黒いゴムが甲をクロスして、ちょっと本当のバレエシューズみたい。

なんて可愛いのに！

さっそく履いてみた。どうしたことだろう、右足のウオノメにあたって痛い。やつとのことで足をすべり込ませたがやっぱり痛い。

仕方ないので、いつもの黒のスニーカーにした。そうしたらものすごくへん。白いプリーツスカートとまるで合っていない。

そのうちに出勤時間がやってきた。

痛い似合う靴か。

ラクチンだけでまるで似合わない靴か。

迷った揚げ句、私はデニムのシューズを履き、スニーカーを袋に入れ持っていくことにした。午後、ちよつと離れた場所ですきなパーティーがあった。みんな歩いていくと言う。

私は今度はスニーカーを履き、デニムの方を紙袋に入れた。パーティー会場の手前で、

「ちよつと失礼」と履きかえた。

それは正解だった。ステージでスピーチをしたからだ。全くコーディネート出来ていない靴だったら、すごく恥ずかしい思いをしたに違いない。

恥ずかしい、と思うことはおしゃれの大切な要素。

「あの時、ああしてれば、あんなつたのに、どうしてしなかったのか」

と後悔することはものすごく大切なことだと思う。

その結果、気に入らない服や靴を身につけた時は、一日中ずうっと不快になる。

「私は、ふだんはもっと素敵なものを着ているんですよ」

大声でわめきたくなる。

このところ学生と接することが多いので、すごく気にかけている。

「キレイでおしゃれな理事長じゃないと、学生は憧れませんか」

私にプレッシャーをいつもかけている人は誰だ!!

うんと稼いで自分に貢ぐ。
なりたいたい自分が明確にそこに
いるんだもの。これが私の生きる道。
『たまには冒険』貢ぐのは、自分！

美人は努力すればそこそこの線までいく。
魅力ある女には、かなりの確率でなれる。
が、ゴージャスな女、
というのは

とてもむずかしい。
『美女入門PART3』そうよ、ワタシはゴージャスな女

ああ、今度生まれてくる時は
23センチの足に
なりたいなあ。
『あした何着よう美女入門20』おしやれの代償

至福の時って
思い出になっても
甘い。

それを飴のように
取り出して時々なめる。
するとまた幸せになれる。
『いいこと考えた！』シアワセ・フォーエバー

シリーズ累計
210万部超！
「美女入門」より

マリコ 金言集

私は野心を持った女の子が
大好きだ。ただしこれには、ありきたりの
小細工をつかわないこと、という条件がつく。
『美女入門』野心というもの

いいお花屋さんを教え合おうって、
ヘアサロンやネイルサロンを知るぐらい
大切なことである。『女の偏差値』パンダのアンアン、花になる

そう、ビビッときたものに出会うなんて
めったにないんだから、
すぐに自分のものに
しなくてはならない。恋人もね。
『人生は毎ショート』ビビッときたの

春が近づくと、
新しい口紅が
欲しくなる。
『美女スナイホーム』シャネルリップの高揚感

人生なんとかなる。お金だってなんとかなる。

自分が欲しいものは、
どんなことをしたって
手に入れる。
私はそんな風に生きてきたじゃん。

『わかりますっ？』マスト・バイ・コート

最新刊／



わかりますっ？
美女入門23
1650円



あした何着よう
美女入門20
770円

マガジンハウス